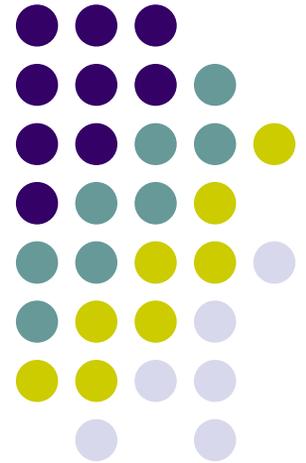
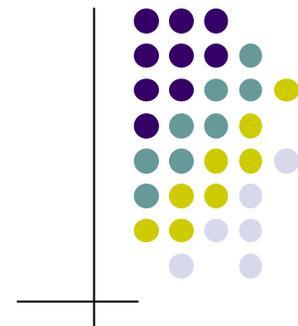


金融教育って何ですか？

— 『生きる力』に通じる金融教育

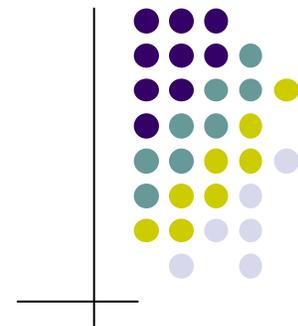


1. 皆さんにとって金融とは・・・



「金融」と聞くと・・・

さらに「金融教育」は・・・



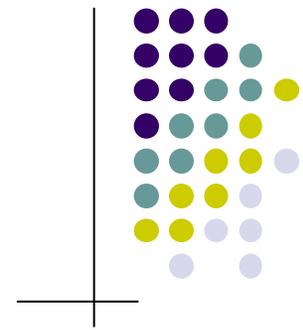
2. 金融教育は「生きる力」

私たちの考える金融教育とは・・・

— お金の役割を正しく理解

- ⇒
- ①家計管理、生活設計
 - ②金融経済の基礎知識
 - ③金融トラブルへの対応力
 - ④キャリア教育
-

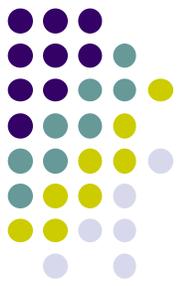
3. 今、学校では・・・



- ① 人間教育・学力問題の間で
 - 社会、メディアの注目
 - 家庭の役割・要求が学校に

 - ② 増える〇〇教育
 - 環境、法・・・そして金融
-

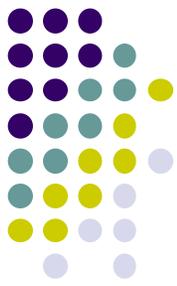
4. 今なぜ『金融教育』か？～その1～



①社会環境の変化

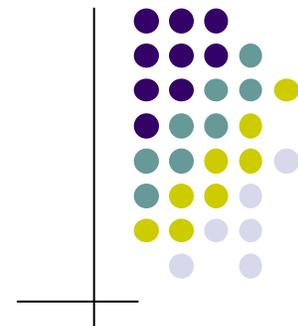
- 規制から自由化社会へ
 - 雇用形態、社会制度の変化
-

4. 今なぜ『金融教育』か？ ~その2~



②金融トラブルの多発・低年齢化

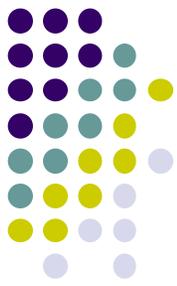
- 金融商品の多様化
- 携帯電話、インターネットの普及



<参考1> 金融トラブルの種類

- a. 金融商品を巡るトラブル
→ 専門知識の不足
 - b. 多重債務によるトラブル
→ 基礎知識とライフプランの軽視
 - c. 預金口座を利用したトラブル
→ 犯罪：詐欺
-

4. 今なぜ『金融教育』か？ ~その3~



③官の本格的取組み

【金融庁・消費者庁】

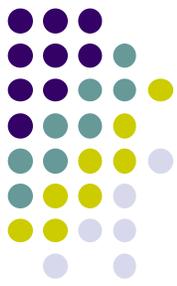
- ・・・消費者保護の推進

【日本銀行】

- ・・・合理的経済行動の促進

【文部科学省】

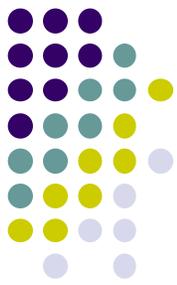
- ・・・「生きる力」教育との合致



<参考2> 金融教育推進の悩ましさ ~その1~

- ① 学校・先生が多忙さ
 - 授業時間削減、管理負担増
 - ② 金融教育の誤解
 - 「投資教育」、「儲け」との誤解
 - ③ 学習指導要領の誤解
 - 基準性の誤解
 - 内容(読み取り)の誤解
-

金融教育推進の悩ましさ ~その2~



学習指導要領の誤解解消に向けて

①改訂作業への関わり

- 部会委員への働き掛け
- パブリックコメント

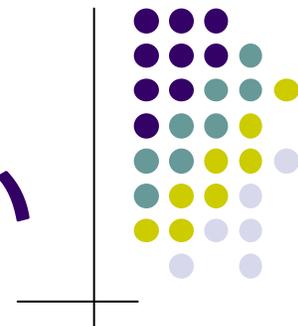
②基準性の誤解の払拭

- 「はどめ規程」の見直し

③記述の明確化(キーワード)

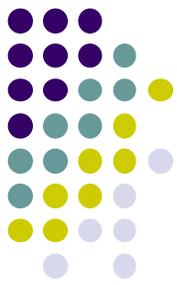
- 「消費者」、「金融・経済」、「職業体験」
-

5. 学校に協力を求める意味合い

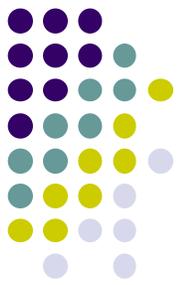


- ①鉄は熱いうちに
 - ②みんなが通る道
 - ③地域コミュニティの核
-

6. 金融教育は生活の中に～その1～



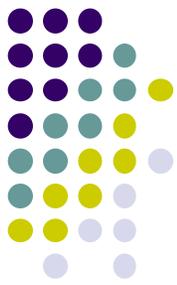
- i. 1万円を1か月借りる場合、利息が一番高いのは？
 - a. 親に法定利息
 - b. 友人にランチ
 - c. 銀行に利息制限法 上限金利
-



6. 金融教育は生活の中に～その2～

ii . 借金100万円、金利年5%複利
5年後の一括返済額はいくら？

- a. 100万円
 - b. 125万円
 - c. 128万円
-



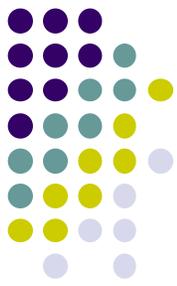
6. 金融教育は生活の中に～その3～

iii. 電話でセールスマンを呼び、商品を購入したが、3日後に返品した。

⇒ ○ or ×

iv. キャッチセールスで商品を購入し、同時に「クーリングオフしません」という念書を書かされたが、8日以内に返品した。

⇒ ○ or ×



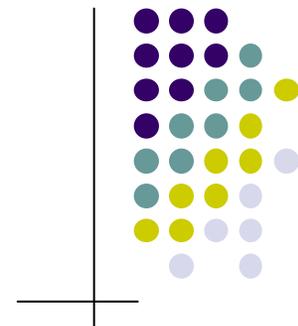
7. 小学生と考えるお金・金融の話

①低学年

お金で「買えるもの」「買えないもの」
お小遣いで考えるNEEDSとWANTS

②高学年

身近な物品から様々な内容を学ぶ
販売促進策を考える



7. 中・高生と考える金融の話

- ①物々交換を体験する(お金の役割)
 - ②オークションに参加する(経済の仕組み)
 - ③起業を考える(キャリア教育)
-